成小だより

学びのエリア「エリア章」

令和８年１０月３０日
成増学びのエリア
（赤二中、成増小、成増ヶ丘小）
板橋区立成増小学校
電話０３（３９３０）０１７２

【１１月号】

【成増小学校ＨＰ】

互いを尊重し、心を通わせ合える子どもたち
明日が待ち遠しい学校をめざして・・・

校 長 荻久保 剛正

１０月に入り、暑さの名残もありましたが、秋めいた日が多く、運動会の練習には絶好の時期だった様に感じます。子どもたちは、運動会の練習、１２月の音楽会に向けての準備とあわただしく活動する毎日を過ごしてきました。そんな中でも、落ち着いて丁寧に学びを積み重ねている立派な姿にたくさん出会うことができました。いよいよ明日、待ちに待った運動会を迎えます。子どもたちの成長している姿、力を合わせ協力している姿、友達のために大きな声で声援を送る姿、様々な姿に出会いにお越しください。

振り返ると１０月は、どの学年も校外に出て学習する機会やゲストを招いて学びを広げる時間が多くありました。



１年生は、秋さがしでドングリなどの木の実や松ぼっくりを拾いに光が丘公園に行ってきました。小雨模様のすっきりしない天気の中でしたが、全校遠足で行ったことのある場所なので、安心してみんなで楽しんできました。2年生は、１年生と一緒にセーフティ教室で、高島平警察の方をお招きし、自分の身の守り方を教わりました。また、町探検では、成増の街を探検し、学びを深めてきました。3年生は農家の方の仕事を教えていただくための農家訪問。スーパーマーケット見学では、コモディイイダさんに伺いました。4年生は、有志でしたが多くの子どもたちが童謡まつりで、アクトホールの舞台に立ってきました。認知症サポート講座では、たくさんの「どのようにサポートしたらよいのか」を模擬体験を通して学ぶ機会となりました。5年生も、総合的な学習の時間「住みよくなります」で成増の街について調べに出かけました。自分たちにできることを探し、学びを進めています。6年生は、運動会での演奏、農業まつりでの演奏に向けて、講師の先生方を招いての練習を重ねてきました。

どの学年も、様々な取組を重ねていますが、その陰にはいつも学校支援地域本部の皆さんと保護者の皆さん、そして、地域の皆さんの力添えがあります。学校だけでは体験の幅が広がらない教育活動、その幅を広げてくださるたくさんの皆さんの力、感謝してもしきれるものではありません。成増小学校の子どもたちは、多くの皆様に支えていただき、本当に幸せです。

さて、１１月に入ります。年間３回のふれあい月間の２回目です。子どもたちには、４月からの児童朝会を通して繰り返し伝えてきている「自分のことだけでなく、周りの人のこともよく見て、ともに心地よく生活することのできる子どもたちになってほしい」という思い。自分勝手に、自分の好きなことをすることは誰にでもできます。しかし、自分も大切にしつつ、周りの人のことも大切にした言動をとることは、しっかりと意識をしていなければ、できるようにはなりません。成増小の子どもたちの多くは、しっかりと意識をして周りに目を向けることができるようになってきているように感じます。本当に素晴らしい子どもたちです。

ふれあい月間では、さらに、学校目標のうち「考え行動する」「役に立つ」「つながる」の３つの意識を高めて学校生活を送ることで、互いを尊重し、心を通わせ合い、共に思い合えるようになってほしいと考えています。そして、その先には、子どもたちも教員も、保護者・地域の方々も、誰もが「明日も来たくなる学校」さらには、「明日が待ち遠しい学校」があるのではないかと考えています。そのための安心・安全な学校づくりに、１１月も力を注いでまいります。

今月も職員一同、「チーム成増」を意識し、子どもたちを真ん中に据えた教育を実現していくため、しっかりと共通理解を図り、一丸となって子どもたちの成長のための取組を進めてまいります。教職員だけでなく、保護者の皆様、地域の皆様方のご協力も得て、チームとして、子どもたちを支えることが大切だと考えております。保護者・地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【来年度の取組の変更点について】

現在、来年度に向けて教育課程の編成を進め始めています。

今年度までは、各学期末に通知表を通して、７月と１１月には個人面談を通して子どもたちの変容をお伝えしてきましたが、来年度からは、通知表２期制を導入させていただきます。

子どもたちの近況については、７月の個人面談、１０月の通知表、１２月の個人面談、３月の通知表の４回で、定期的に継続して変容をお伝えさせていただくこととさせていただきます。

どうぞご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。